

令和4年度 第43回 全国中学校アイスホッケー大会

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

1 大会開催に当たっての基本的考え方

大会の開催に当たっては、栃木県の方針に準ずる。また、運動部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、以下の条件が整うことを開催の条件とする。

- (1) 文部科学省が示した「新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に則した感染防止対策が徹底され学校教育活動が継続されていること。
- (2) スポーツ庁が示した「中学生・高校生等を対象とした全国大会・コンクール等における 感染拡大予防ガイドライン」等に即した活動が進められるとともに、大会1週間前からの体調管理、行動管理などを徹底して行っていること。
- (3) 全国中学校アイスホッケー大会に対応した「感染防止対策ガイドライン」を作成し、細やかな感染予防対策を講じること。

2 大会開催時の感染防止策について（主催者からのお願い）

大会期間中は（公財）日本中学校体育連盟の全国中学校体育大会実施上の COVID-19 感染拡大予防ガイドライン並びにスポーツ庁、（公財）日本アイスホッケー連盟等が作成している新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関するガイドライン、大会実行委員会の新型コロナウイルス感染症対策に係る留意事項や指示を遵守すること。

感染防止のため実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化したもの【別紙4】を示すので、監督やスタッフ、選手、その保護者に配付し、事前に各事項を遵守するよう伝えること。また、参加生徒を含む大会関係者全員が感染防止に努めるよう協力すること。

万が一、大会関係者に新型コロナウイルス感染症発症者（またはその疑いのある疾病者）が確認された場合は、保健所・医療機関・主催者等の指示に従い、発熱等の症状がみられない選手も大会参加を中止とし、保護者に引き取りに来ていただくことがある。

(1) 参加生徒・大会関係者への事前申し合わせ事項

- ① 開会式等は実施しない。
- ② 参加生徒及びその家族（観戦者）または引率者やチーム関係者、報道関係者等は大会前1週間分の体調を「体調管理チェックシート」【別紙1】に記録し、健康管理を徹底すること。また、毎日の行動記録をメモで残し、チーム代表へ提出すること。チーム代表は不慮の発熱者が出た場合に備え、「体調管理チェックシート」【別紙1】を管理し、発熱者の濃厚接触となる疑いのある選手に対して、適切な措置を講じること。
- ③ 引率責任者（顧問等）は、参加生徒から「体調管理チェックシート」【別紙1】を回収し、「学校同行者体調記録表」【別紙2-1】にまとめ、公式練習入場時に提出すること。また、試合ごとの入場に関して、直前の体温を記録し、入場ごとに受付へ提出すること。各チームの応援者代表も同様に観戦入場時に、応援入場する家

族から「体調管理チェックシート」【別紙1】を回収し、「学校同行者体調記録表」【別紙2-1】にまとめ、入場ごとに担当者へ提出すること。また「体調管理チェックシート」【別紙1】はチーム代表が1か月程度保管し、不測の事態に備えること。

- ④ 観戦は、選手の家族を認める。ただし、1週間の体調管理チェックシート【別紙1】を記録の上、チーム代表（応援者代表）へ提出し、新型コロナ感染のない旨を申告すること。会場に入る前に検温を行い、体温が37.5度以上ないことを確認すること。

2回戦までのゲームに関しては観戦できるのは自チームの試合のみとする。

自チーム以外の試合観戦は準決勝以降のゲームから認める。ただし、今大会関係者のみとする。準決勝以降の試合観戦の入場に当たっては、「学校同行者体調記録表」【別紙2-1】の提出をもって認める。チーム代表は引き続き、選手等の体調管理に努め、指定する時刻からチームまとめて入場をすること。

- ⑤ 大会に参加する生徒とその保護者は「参加同意書」【別紙3・別紙4】に氏名等必要事項を記入、押印の上、所属校の校長もしくはチーム代表に提出する。校長もしくはチーム代表は「参加同意書」【別紙3】を確認する。
- ⑥ 会場内の観戦に関しては、自チームの観客スペースを使用すること。試合が終了次第、速やかに退場すること。また、観戦席は使用前後に各自消毒をし、チームの応援代表者の方は使用客席の消毒確認を確実に行うこと。
- ⑦ 以下の事項に該当する場合は、入場を認めない。

※大会公式練習時に書面（「学校同行者体調記録表」【別紙2-1】）で確認を行う。

ア 大会当日に37.5度以上の発熱がみられる者。（会場への集合は控える）

イ 1週間以内にチェックのある選手に関しては「体調管理チェックシート」【別紙1】にて詳細を確認し、有症状者の場合、発症日（0日）から数え、7日を経過していない者。かつ症状が軽快後24時間たっていない者。

- ⑧ 参加生徒を含む大会関係者は全員不織布マスクを持参し、競技等実施時・飲水中を除いて不織布マスクを着用すること。
- ⑨ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ⑩ 手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- ⑪ 飲物やタオルは個々に用意し、共用しないこと。
- ⑫ 競技等実施時を除いて、人と人との距離を確保すること。（できるだけ2mを目安に、最低1m）
- ⑬ 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑭ 大会（試合）前後のミーティング等においても、3つの密を避けること。
- ⑮ 選手（チーム関係者）、観戦者（選手の家族）、役員、それぞれに決められた入退場口を使用し、それぞれの動線が交わらないようにすること。
- ⑯ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ⑰ 大会終了後1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会事務局（070-1417-4410）に対して速やかに連絡すること。なお、濃厚接触者の有無等についても併せて報告すること。

(2) 大会会場での感染拡大防止対策について

1) 手洗い場所はトイレ内とする。

手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。

2) 更衣室、休憩・待機スペース

- ① 着替えに関して控室に入りきらない選手は通路で更衣を行うこと。更衣後の荷物は通行の邪魔にならないよう整理し、通路、または控室へ入れ通行の邪魔にならないようにすること。控室内でのミーティングはコーチ、選手共に不織布マスクを着用し、ドアを開放した状態、及び短時間で終わらせること。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する人数を制限する等の措置を講じること。
- ③ ゲーム後の控室は事務局で消毒を行いますので、速やかに退室すること。
- ④ 控室の入口ドアを開ける等、換気に配慮すること。
- ⑤ 観戦の際、使用する席を使用前後で各自消毒し、各チームの応援代表者の方は使用客席の消毒確認を確実にし、速やかに決められた動線で退席すること。

3) 飲食

- ① 飲物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うこと。
- ② 給水の際は周囲の人と距離を取って対面を避け、会話は控えるよう指導すること。観戦者は会場内で飲食しないこと。
- ③ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所（トイレ内）以外（例えば走路上）に捨てないように指導すること。
- ④ 参加生徒の飲食は参加チームの責任においてさせるとともに、ゴミはすべて持ち帰ること。

4) その他

- ① 唾や痰をはくことは絶対に行わないよう指導すること。
- ② 雨天時のウォーミングアップには本部から指定された箇所を利用すること。

(3) 参加生徒、関係指導者の発熱等を確認した場合の対応について

1) 大会前

- ① 発熱等の症状がみられ、新型コロナウイルス感染症陽性判定がでた生徒や顧問等の出場（入場）に関しては発症日（0日）から数え、7日を経過し、かつ症状が軽快後24時間経過しない場合は、入場は認めない。解除は8日目から可とする。
- ② 生徒や顧問等で新型コロナウイルス感染症陽性となったが無症状の場合、判定が出た日（0日）から数え7日の待機期間を過ぎるまで出場を認めない。ただし、4日目、5日目の朝に抗原検査等で陰性が証明できれば5日目からの参加を認める。
- ③ 家族等が新型コロナウイルス感染症陽性となり、濃厚接触が疑われるケースでは、症状がない場合でも、5日間の待機期間を過ぎるまでの出場を認めない。ただし、2日目、3日目の朝に抗原検査等で陰性が証明できれば3日目からの参加を認める。

2) 大会期間中

- ① ゲーム当日、発熱が確認された場合は、発熱者に関しては保護者に迎えに来てもらい速やかに帰宅させ、会場への集合は避ける。保護者に帰宅を促し、かかりつけ

医に早急に相談、指示に従う。

- ② 発熱した選手と2日間をさかのぼり、マスクなしで15分以上の会話のあった者（食事時など）、10分程度の至近距離にいた者、接触のあった者に関しては、抗原検査もしくはPCR検査（検査キットは各チームで準備する）で陰性が確認できるまで、当該大会の出場を控える。また、保健所より濃厚接触が認められた場合は大会出場を認めない。
- ③ 複数の発熱者が発生した場合、大会棄権もあり得ることを理解し、大会前1週間の生活に細心の注意をはらう。
- ④ 発熱者、濃厚接触者が発生し、ラインナップ11名が確保できない場合、当該チームは棄権とし0-15の不戦敗とする。

3) 大会後

- ① 感染者の所属する学校・チームや行政機関の指示に従う。
- ② 当該の大会事務局としては、速やかに事故報告書を作成し、日本中体連事務局と感染者が参加した大会当日に会場内にいたチーム代表者に連絡を行う。

(4) 日ア連主催大会新型コロナウイルス感染症対応マニュアルより

- ① ブルーライン整列は最低1mをとる。
- ② レフェリーとの接触を避け、握手をせずに社会的距離をとって礼のみ。
- ③ 試合前に行う円陣は小さくならないように配慮し、エアータッチで接触しない。
- ④ 選手・スタッフはベンチ内では大声を出さない。（ペナルティ対象）
- ⑤ ベンチ内の選手は交代選手・ドアマンを除き着席すること。
- ⑥ 試合終了後、レフェリーや相手チームへのあいさつはしない。

(5) その他

- ① 会場への移動等は、各チームで責任をもって行い、集団感染のリスク（三密の条件）を避けること。
- ② 大会事務局は万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意し、「学校同行者体調記録表」【別紙2-1】を一定期間（1か月程度）保存しておく。

【補足】

別添一覧と取り扱い

別添書類	タイトル	対 象	提出等	備 考
別紙 1	体調管理チェックシート (1 週間前からの毎日の 行動記録)	・選手 ・チーム関 係者 ・観戦予定 の家族 ・報道等	チーム代表 チーム外関係者（報道関 係等）は大会事務局	1 か月保管
別紙 2-1	学校同行者体調記録表	チーム 観戦者	ゲームごとに 大会事務局へ提出	入場直前の 体温記入 (記入済みで 提出)
別紙 3・4	同意書	参加生徒	所属の学校長 もしくは チーム代表	1 か月保管

【大会参加までの流れ（フロー図）】

~大会申込	1 週間前~前日	当日~終了以降
<p>【生徒・観戦予定者】</p> <p>(1) 参加生徒の健康面を踏まえ、大会参加の可否を判断する。</p> <p>(2) 参加同意書【別紙 3・4】、開催・実施時の感染予防チェックリストを確認、保護者押印</p> <p>【学校・チーム代表】</p> <p>(1) 校長、チーム代表が同意書確認</p> <p>(2) 同意書は学校、チームで保管</p> <p>(3) 校長が大会参加申込書に押印し、アイスホッケー専門部に提出</p>	<p>【生徒・観戦予定者】</p> <p>(1) 大会前 1 週間分の体調管理チェックシート【別紙 1】を記録。</p> <p>(2) 大会終了後の記録は任意。</p> <p>【チーム代表・応援代表】</p> <p>(1) 体調管理チェックシート【別紙 1】をもとに参加者の体調を確認、【別紙 2-1】学校同行者体調記録表へ転記する。</p> <p>(2) 会場入場ごとに提出するので、複数枚準備し、携行する。</p> <p>【すべての関係者】</p> <p>(1) 選手、引率者、応援関係以外の入場に関しては、体調管理チェックシート【別紙 1】の提出をもって、入場の可否を判断する。</p> <p>(2) 1 週間の体調記録、行動履歴を記録しておくこと。</p>	<p>【チーム代表・応援代表】</p> <p>(1) 大会当日学校同行者体調記録表【別紙 2-1】に当日の体温を事前に記入し、入場時に提出すること。</p> <p>(2) 会場入場に関してはチームごとにまとめて入場、観戦すること。</p>
<p>【別紙 1】に関しては、大会事務局からの指示がある際に、速やかに提示できるようにチーム代表が保管、携帯しておくこと。</p>		

